

木製建具カタログ

(有)高橋建具製作所

〒957-0007 新潟県新発田市小舟町1-15-5

TEL: 0254-22-6450 FAX: 0254-22-7096

メール: info@kimajime.co.jp ホームページ: <http://www.kimajime.co.jp>

この度は、資料請求頂き、ありがとうございます。

弊社では、障子、襖、簾戸、格子戸など木製建具を各種製作しております。

製作する上で心がけていることは、1つ1つの作業を確実に丁寧にすることです。少しの手間や、工夫の積み重ねで、丈夫な美しい建具ができると 思います。

工場のある新発田（しばた）は城下町で、沢山の職人仲間が働いております。表具・漆・硝子・すだれ・・と、気心の知れた相手と仕事ができるのは、今の時代、恵まれた環境だと思います。皆で協力し、この新発田の地より本物をお届け できるよう精進して参りますので、これを機会に よろしくお願いいたします。

ご不明な点などは、何でもお気軽にお問合せ下さい。

(有)高橋建具製作所

代表取締役社長 高橋孝一

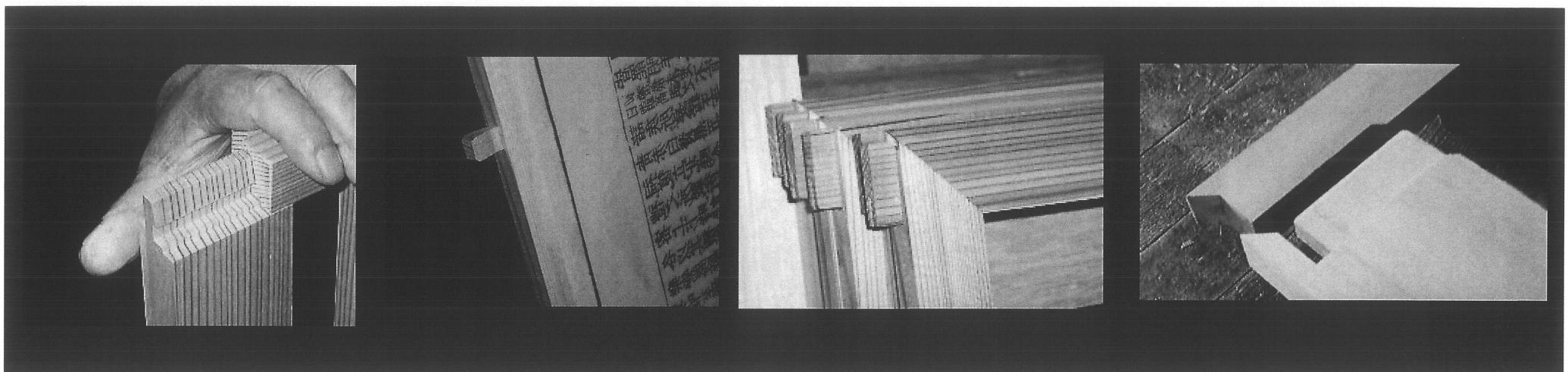
【会社概要】

創業：昭和36年

従業員数：6名

営業品目：木製建具・家具

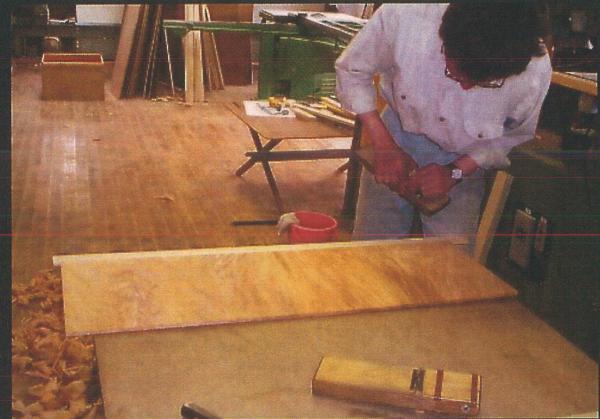
営業範囲：新潟・関東甲信越





腰板付障子

秋田杉の一枚板を入れた
障子。3年たって、艶が
でてきました。面は几帳面。
繊細な陰影がうまれます。



板削りは得意です。手鉋で仕上げます。板も各種そろっております。

写真下：一枚板を簾間にした例。鋸目分（1分）空きで、1分の
細い桟を組んでいくと、木目が連続して見えます。

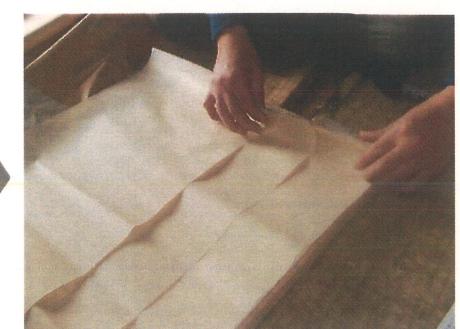
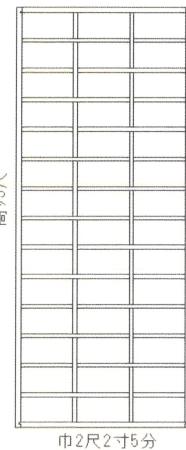
新発田は、茶道が盛んな町です。その為、美しい和菓子とともに、
雪国にしては珍しく、繊細な建築文化が栄えました。
当社も書院や、本襖や簾戸などの茶室で使うもの得意としています。

←本襖：透かし張り施工例 障子は内山和紙です。

透明感がありとてもきれいです。(千鳥張り)

↓本襖 縁なしの太鼓。

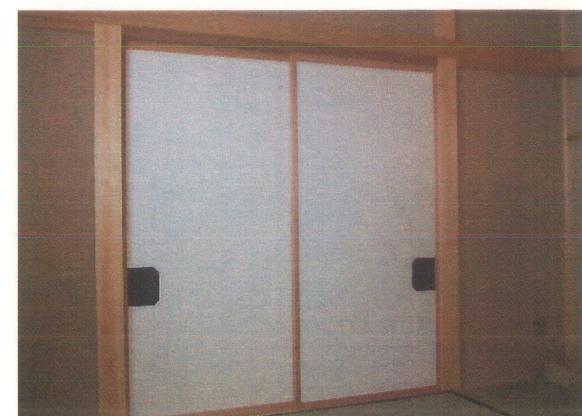




- ① 骨組み 棚はゆるめに組んで糊は使わない。固定すると襖全体のねじれの原因になるためです。互い違いに組んで、紙をはって平らになる程度ころばしをつけます。当社では隅木は入れないで、チイ（入隅）をたてます。
- ② 捨糊 骨に濃い糊をつけて乾かす。アクどめと、下張りの糊付きを良くするための仕事。

- ③ 骨縛 骨の強度を増すため、内山古紙などの強靭な紙を張る。④打付（うちつけ）。通常べたばりという作業：上写真）さらに古帳を張り、強度を増す。

- ⑤ 袋張（みのばり） 丈の短い薄手の和紙（石州紙）を張り重ねる。写真は上等な三遍袋（3枚）。上だけ糊をつけて下はペラペラの状態。これでフンワリ感ができます。



⑥ 袋押（みのおさえ） 強靭な古帳でべたばりする。ここで框のころばしの凸部分を小刀で端削し、平らにする。表具屋さんが、大丈夫だからってごらんと言うのでそっとのってみましあ。紙というより弾力のある皮のようでした。（左写真は古帳 とても丈夫です）

⑦袋張（ふくろばり） 上袋・下袋と呼ぶように、2枚の和紙を張る。袋とは四方のみ糊をつけることです。ここまでが下張りで、合計8枚張っています。

⑧仕上げ

最後に上張りをして完成です。濃紺の引手摺りもつけました。縁は、カナヅチで軽くたたくとスッとぬけるようになっています。写真右は、蟻ホゾ（送り込んでしめます）





手彫りの透かし彫りも承ります。図案から絵をかきます。

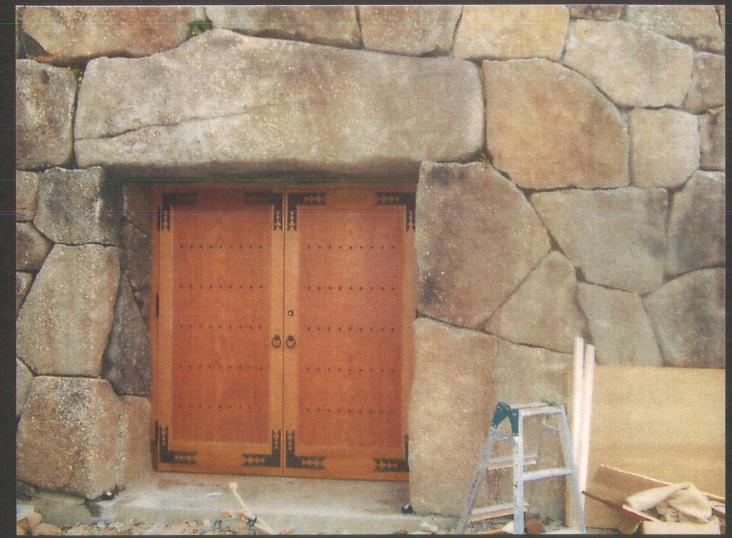
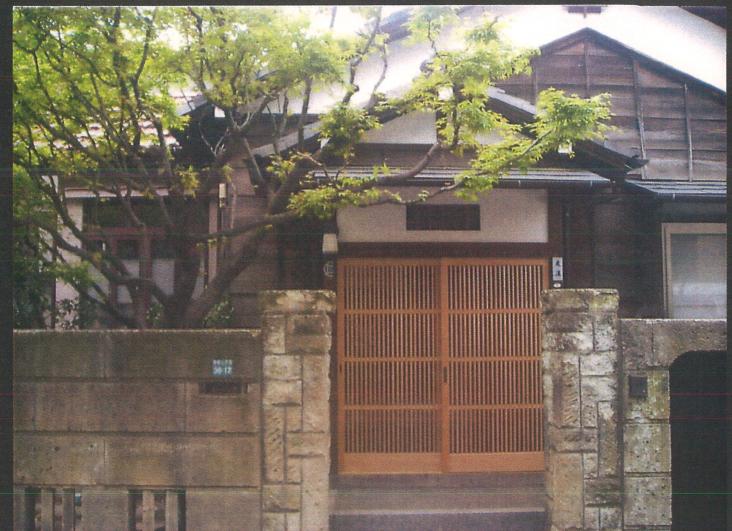


外部の硝子戸を木製にすると、お庭がきれいに見えます。青森ヒバ使用。



夏の建具、簾戸（すど）

すだれを木枠にはめこんだ簾戸。すだれには、萩（はぎ）御形（ごぎょう）竹ひご、葭（よし）など自然の素材を使います。写真は、撫子の透かし彫りが入っています。鮎や、波に千鳥など涼しげなモチーフが好まれます。



上：千本格子（杉 赤太）

下：門戸（檣） 玄関戸、雨戸、門戸など外部建具も製作します

木製建具価格

標準的な価格です。

素材・寸法により変わります。

正確な金額は、お見積り致します。

お気軽にお問い合わせくださいませ。

雨戸・・・七万円

にじり口・・・五万五千円

障子（腰板五寸 内山和紙）・・・七万円

窓障子・・・二万五千円

本襖・・・八万円

簾戸（竹ひご）・・・七万円

簾戸（萩）・・・十四万円

格子戸・・・十五万円

有限会社 高橋建具製作所
新潟県新発田市小舟町一・十五・五
電話 ○二五四・二三一・六四五〇

